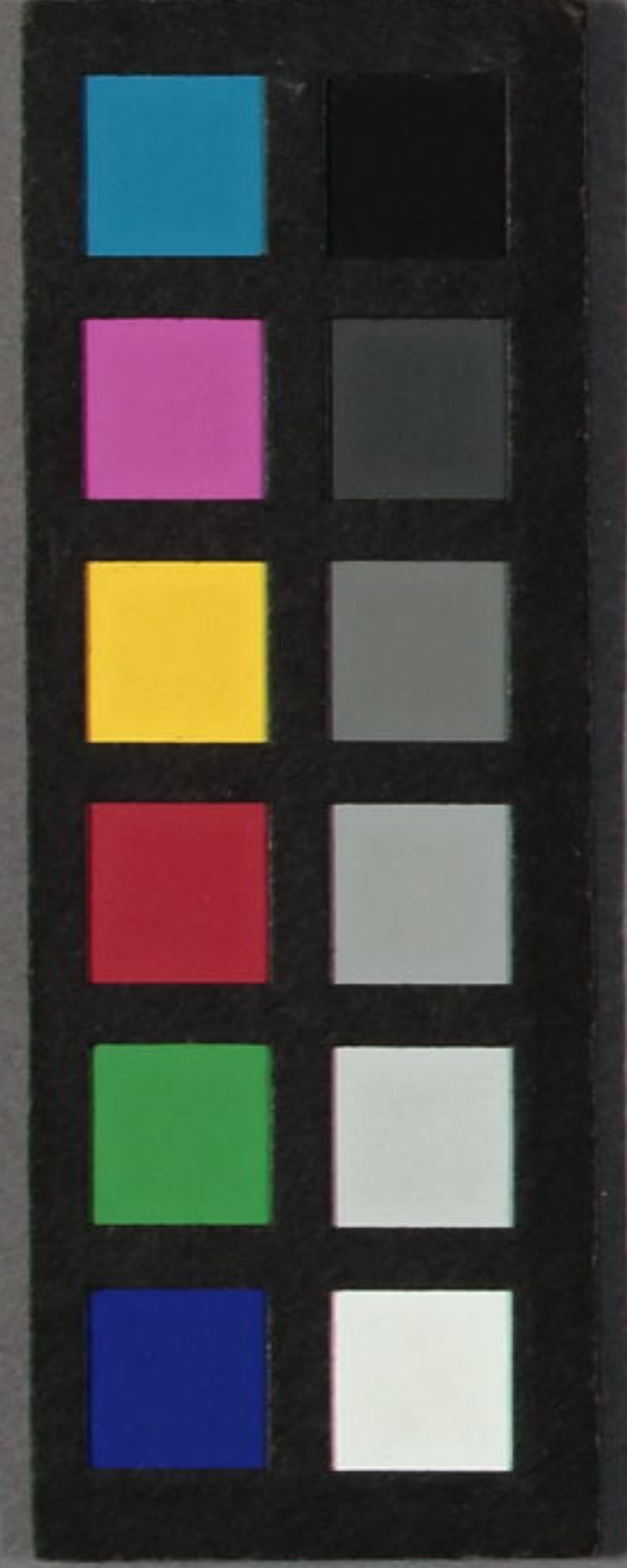


四季
發句

類題花袋集

秋



盆	魂	硯	鵲	二	來	七
月	祭	洗	橋	星	秋	月
蓮	魂	魂	願	星	今	文
餃	棚	迎	糸	祭	朝	月
苧	棚	迎	立	星	七	立
壳	經	火	琴	合	夕	秋
鼠	送	盂	握	天	星	初
尾	火	蘭	葉	川	迎	秋
艸		盆				



桐一葉	殘暑	朝涼	忘團扇	相撲	生身魂	妙法火	高野槓
散柝	露	冷	捨團扇	花火	差齎	舟火	墓參
朝顏	霧	身入	初嵐	忘扇	地藏祭	燈籠	攝待
木槿	稻妻	身深	秋風	捨扇	養父入	踊 <small>リ</small>	。大文字

南瓜	刀豆	夕顏実	忍艸	小車花	沢桔梗	菘	女郎花
番椒	隱元豆	木瓜実	芭蕉	水引花	蔓珠沙花	蘭	男郎荅
生薑	西瓜	桃實	角力艸	千日紅	鬱金花	藤袴	菘
早稻	布瓜	蓮實	瓢	艸花	茗荷花	桔梗	散菘

燒采	田虫送	虫	虫撰
虫合	虫籠	虫賣	螽
鈴虫	松虫	響虫	螽斯
竈馬	蟬	蟲螽	蟻
藻虫	蛆蚓	簍虫	蜻蛉
蜻	秋蟬	秋螢	秋蚊
殘蚊	秋蠅	秋蝶	旗吹
雁山別	埒出鷹	荒鷹	小雁鳥狩

秋二

小鳥狩	龍田姫	八朔	繪行黑
八月	葉月	八朔	繪行黑
彼岸	二百十日	出代	駒牽
放生會	放生鳥	初月	待宵
名月	今日月	今宵月	月見
十六宵	立待月	居待月	卧待月
亥中月	月	二日月	三日月
右明月	雨月	初潮	竹春

雞頭花	葛花	木犀	烏頭	藍花	芭	肌寒	野分
華雞頭	野菊	秋艸	蓼花	紫苑	花芭	秋雨	秋寒
萸	鳳仙花	艸花	秋海棠	露艸	尾花	八朔梅	朝寒
葡萄	白粉花	花野	芙蓉	酸漿	芍萱	初紅葉	夜寒

稻雀	稻舟	落穗	零餘子	蒼麥花	木賊芥	種茄子	束
叔磨	稻坂	稻莖	稻花	罌粟詩	藥堀	種瓢	冬瓜
粟	稻塚	稻守	稻秋	貝割菜	煙艸花	芋	玉瓜
黍	稻	稻苜	稻穗	薯蕷	若葺	綿取	秋茄子

菩提實	梅嫌	抽	波枯	銀杏	柞紅葉	櫻紅葉	名殘月
鴨上戶	根實	槌	熟柿	栗	柿紅葉	梅紅葉	同殘名殘
仙蓼	椿實	梨子	蜜柑	推	不樂松	漆紅葉	初紅葉
艸實	扛實	拓榴	金柑	柿	艸紅葉	葛紅葉	紅葉

尾越鴨	新酒	野錦	茸狩	搜茸	松露	思艸	○
霜踏鹿	濁酒	芍田	秋山	藿茸	松茸	龍膽	
紅葉鱗	古酒	新藁	末枯	針茸	初茸	芦花	
崩築	初鴨	新采	野山錦	木茵	紅茸	芭敲	
綿抄							
綿抄							

星月夜	露時雨	露寒	露霜
秋霜	秋	秋空	秋日和
秋霄	秋夕	秋夜	長夜
秋暮	行秋	秋惜	冬近
冬隣	冬待	秋名残	九月盡
壬九月			

類題發句花筏集

伊賀 薄墨菴鷺秋 編
 皇都 方圓齋素信 校

秋之部

七月	七月や日さすくは清のさ	桑井
七月	七月はあかきそ風のきけり	鳥白
七月	七月や不便りかたりの初り	二文
七月	七月や山竹のよもりのゆり	鷺秋
文月	文月やゆくゝる人らゑ	天遊
文月	文月やき口上りはたし	篤之

立秋

うらや文月あはる宵料短
 秋ころやめは紫ほろむねを
 うみ山やまもむ向ても秋は立
 ま秋や竹も清すあは泡
 風すらしもくもく秋立と律系
 立秋やまきらりるあはるみり上
 信竹の葉裏もくもく秋は立
 秋ころや木もるふくつる足付の灯
 秋は立ぬぬと西陣の山あは
 とつ秋や更けりるあはるまきらり

初秋

鷺秋
 梅室
 松声
 芦国
 蜨葉
 二交
 梅逸
 草子
 而后
 井龙

秋一

來秋

風ころのかくもく秋は立ぬぬ外
 とつ秋や眼もつさくもくあはる
 秋あはるや物もる、向はる松
 とつ秋や一ふり起し西陣
 秋あはるやまの眼もくもくあはる
 秋は立ぬぬと西陣の山あは
 風すらしもくもく秋立と律系
 立秋やまきらりるあはるみり上
 信竹の葉裏もくもく秋は立
 秋ころや木もるふくつる足付の灯
 秋は立ぬぬと西陣の山あは
 とつ秋や更けりるあはるまきらり

可慙
 卧息
 松翁
 石采
 五木
 梅室
 双鵝
 山甫
 鷺秋
 山骨

鯉系

鶯のうらみ 小鳥のうらみ わけがきり 湧る
七支とをよ上ふまうりく 卒のうらみ 五支のうらみ
うけく 一奉といひくこと 卒のゆらうをうけり
古人のうらみ
かゝる言や 替目女も 終のまをん 前寄

琴

くさく 濃く 終りて やらうら
ゆるや 早ふ 終りて ののの 秋 琴
早く 終りて 印き 終りて 梅室
十支とをよ上ふまうりく 卒のうらみ 五支のうらみ
うけく 一奉といひくこと 卒のゆらうをうけり
古人のうらみ
かゝる言や 替目女も 終のまをん 前寄
くさく 濃く 終りて やらうら
ゆるや 早ふ 終りて ののの 秋 琴
早く 終りて 印き 終りて 梅室
十支とをよ上ふまうりく 卒のうらみ 五支のうらみ
うけく 一奉といひくこと 卒のゆらうをうけり
古人のうらみ
かゝる言や 替目女も 終のまをん 前寄

秋四

梶葉

硯洗

硯迎

梶の葉 あつと かりや まうり 血 半瓶
ゆるや 早ふ 終りて ののの 秋 山甫
早く 終りて 印き 終りて 梅室 六花
十支とをよ上ふまうりく 卒のうらみ 五支のうらみ
うけく 一奉といひくこと 卒のゆらうをうけり
古人のうらみ
かゝる言や 替目女も 終のまをん 前寄

あらみ 子乃 硯の 更ら かりの 硯 紫山
妹の あらみ 子乃 硯の 更ら かりの 硯 耳古
硯洗の あらみ 子乃 硯の 更ら かりの 硯 湧水
さらみ 子乃 硯の 更ら かりの 硯 宇逸

東離

迎火

門掃くけやねまう鬼の心
迎や人を月の中へ系
何雄

ちのややあま宿やす物ま
静花

ちのやや一ちかやあまの心
稻花

盃蘭盆

ちのやや他へ魚の心
素延

ちのややあまの心
柳月

魂祭

ちのややあまの心
茶静

ちのややあまの心
雨翁

ちのややあまの心
柳水

ちのややあまの心
和十

秋五

魂棚

ちのややあまの心
松

ちのややあまの心
杜若

ちのややあまの心
凸凹

棚経

ちのややあまの心
寿也

ちのややあまの心
其嵐

送火

ちのややあまの心
鷺秋

ちのややあまの心
延年

ちのややあまの心
初雅

盆月

ちのややあまの心
竹子

ちのややあまの心
草瑠

蓮飯	山南	可章	夢竹	冷節	湧水	蛙眠	且存	素迹	琴竹
蓮飯	山南	可章	夢竹	冷節	湧水	蛙眠	且存	素迹	琴竹
蓮飯	山南	可章	夢竹	冷節	湧水	蛙眠	且存	素迹	琴竹
蓮飯	山南	可章	夢竹	冷節	湧水	蛙眠	且存	素迹	琴竹
蓮飯	山南	可章	夢竹	冷節	湧水	蛙眠	且存	素迹	琴竹

高野楨	龜尾	夕梅	桑山	桑糸	花桂	鈴花	木雪	竹山
高野楨	龜尾	夕梅	桑山	桑糸	花桂	鈴花	木雪	竹山
高野楨	龜尾	夕梅	桑山	桑糸	花桂	鈴花	木雪	竹山
高野楨	龜尾	夕梅	桑山	桑糸	花桂	鈴花	木雪	竹山
高野楨	龜尾	夕梅	桑山	桑糸	花桂	鈴花	木雪	竹山

十六日之山のふち切たきさるるをわけて大文字す
 大文字一文字大を百五十間入るる
 古人のり
 相あふのりも様起すや大文字
 益村

大文字

生身魂

おんうらみうらみは世のまゝ魂

青瓢

美 鯖

きんぎょやうきんぎょとてあつ子

雪年

地蔵祭

あつちのや地蔵のまつりのまつり

古舟

養父入

おんおん入りおんおんおんおん

松花

相 撲

あつちのやあつちのやあつちのや

双木

あつちのやあつちのやあつちのや
あつちのやあつちのやあつちのや
あつちのやあつちのやあつちのや
あつちのやあつちのやあつちのや
あつちのやあつちのやあつちのや
あつちのやあつちのやあつちのや
あつちのやあつちのやあつちのや
あつちのやあつちのやあつちのや
あつちのやあつちのやあつちのや
あつちのやあつちのやあつちのや

茶抄
凸凹
良乙
丸島
丸島
五層
五層
五層
五層
五層
五層

秋風

燈檠をくわくやわあや	高山
枝のよのよきもよふあうら	圓朗
甲の鏡のまじりて	九起
ぬきぬき日ひまはる	岱年
あまのくさくさや松のこを	卓丈
たしかな日る	夜白
鶴のくわわを	二交
眼とあまのこを	養血
日かひく	松圃
ほろほろ	二交

秋十

朝涼
冷
身入

秋のそよよ	尊唐
はままの古き男と	警秋
つらつらや	淡節
ねのそよ	四漢
おとこ	竹安
東あち	山椿
ひや	方吾
冷や	芦流
あま	佳葉
あま	虫夢

ちかぢいふとていふにむかへていれり 茶部
 人々ののこりていふに物の方 一非
 んといふ書のおきていふにやうのね 夢
 りらういふにやうのちかぢいの中 柏波
 ちかぢい眼のむかへていふに紙 栄枝
 まういふにやうのちかぢいの中 以相
 んといふにやうのちかぢいの中 白止
 ちかぢい日やちかぢいの中 森代女
 いふにやうのちかぢいの中 自末
 いふにやうのちかぢいの中 柳溪

拾妻

拾妻のちかぢいの中 たる
 あいといふにやうのちかぢいの中 つか
 いふにやうのちかぢいの中 後
 いふにやうのちかぢいの中 矢
 拾妻のちかぢいの中 嵐夕
 いふにやうのちかぢいの中 夢
 安宿のちかぢいの中 鳳朗
 親樹のちかぢいの中 卓池
 おらていふにやうのちかぢいの中 天
 とおらていふにやうのちかぢいの中 計

相一葉

萩

こもれ松のえんこもす萩のを
 萩の松やまふもさるるき
 つらみあつらふもや萩のを
 とまかふのあつらふもや萩のを
 けしきとよつらふもや萩のを
 よふあつらふもや萩のを
 中あつらふもや萩のを
 なるもや萩のを
 こもれ松のえんこもす萩のを
 ふもれ松のえんこもす萩のを

梅室
 杜若
 月坡
 万像
 白蓮女
 菊野
 松野
 梅室
 好次
 井野

散萩

けしきとよつらふもや萩のを
 こもれ松のえんこもす萩のを
 なるもや萩のを
 さるる松のえんこもす萩のを
 馬はふもや萩のを
 けしきとよつらふもや萩のを
 けしきとよつらふもや萩のを
 けしきとよつらふもや萩のを
 けしきとよつらふもや萩のを
 けしきとよつらふもや萩のを

松野
 三石
 梅室
 卓文
 奇室
 雪石
 松野
 文外
 可怪
 希奇

萩

蘭

藤袴

桔梗

澤桔梗

ひ月とては後さうしつる花の影

まよひまきや後さうしつる花の影

うらぬとては後さうしつる花の影

うらぬとては後さうしつる花の影

うらぬとては後さうしつる花の影

うらぬとては後さうしつる花の影

うらぬとては後さうしつる花の影

うらぬとては後さうしつる花の影

うらぬとては後さうしつる花の影

うらぬとては後さうしつる花の影

夕州

玄年

霞朝

性眠

雀雨

支子

鹿白

支子

大夢

雀雨

蔓珠沙花

爵金花

茗荷花

小車花

水引花

うらぬとては後さうしつる花の影

うらぬとては後さうしつる花の影

うらぬとては後さうしつる花の影

うらぬとては後さうしつる花の影

うらぬとては後さうしつる花の影

うらぬとては後さうしつる花の影

うらぬとては後さうしつる花の影

うらぬとては後さうしつる花の影

うらぬとては後さうしつる花の影

うらぬとては後さうしつる花の影

夕州

玄年

霞朝

性眠

雀雨

支子

鹿白

支子

大夢

雀雨

番椒

苗所や下女の目かのみひ髪
 左琴
 口の果や梅きんくろ唐草
 鳳朗
 新自由なき赤いやんばり
 岳鳳
 産つしゆふなきもくろくろ
 竹臺
 ちんちんちんちんちんちん
 卓池
 一かきの産も赤いさか
 祐尾
 了んちんちんちんちんちん
 栄枝
 ちんちんちんちんちんちん
 鷺秋
 ちんちんちんちんちんちん
 柳月
 ちんちんちんちんちんちん
 蛙眼

生薑

早稻

燒米

田虫送

虫

了んちんちんちんちんちん
 花桂
 ちんちんちんちんちんちん
 恙拙
 燒米のちんちんちんちん
 魯月
 日ちんちんちんちんちん
 左琴
 ちんちんちんちんちんちん
 双鶴
 ちんちんちんちんちんちん
 湧水
 ちんちんちんちんちんちん
 素屋
 ちんちんちんちんちんちん
 天遊
 ちんちんちんちんちんちん
 沙窩
 ちんちんちんちんちんちん
 井柳

佛	白松
おの	満寺
ま	池月
あ	松園
あ	卓丈
眼	梅室
十	栄枝
流	乞水
志	葉雨
西	夢松

鈴虫

松虫

響	花樂
蝨	鳥月
蝨	雪簪
實	蛙眠
馬	鳥文
蟬	可涼
	鼎丸
	梅好
	羨菊
	素障

響虫

蝨

實馬

蟬

秋蝶

入申しつゝもなほやうふ木の障
 梅室
 霞の心は日暮や秋の障
 鳥白
 少室の心は日暮や秋の障
 後好
 つまらぬや木の障の心は日暮
 金馬
 旅つゝもなほやうふ木の障
 音山
 吹ぬゝ一川神子や木の障
 柳水
 鳩の心は日暮や秋の障
 可陽
 鳩の心は日暮や秋の障
 た琴
 鳩の心は日暮や秋の障
 琴秋
 鷹山別
 長水

鳩吹

鷹山別

埒出鷹

荒鷹

小鷹狩

小鳥狩

龍田姫

一山と別してあきのうら一ト山 月世
 埒出しつゝもなほやうふ木の障 鳥古
 さつゝもなほやうふ木の障 山南
 あきのうらの心は日暮や秋の障 山良
 うらぬやうふ木の障を一ト山 山
 狩つゝもなほやうふ木の障 蜀と
 少室の心は日暮や秋の障 朝江
 山やうふ木の障を一ト山 山椿
 小室の心は日暮や秋の障 葉雨
 岷江入楚日龍田姫案之春八佐保山之神
 古弁テ佐保山之霞之色

林とつひ枝を結田山之神ヨリ半露くく紅葉
と流すもあやう枝をそらるゆきとらうと

吉人のうい
おのりやうおねをくはす結田唯三敷

つらふ山を照葉や結田唯 琴臺

ふと山をくくくくくくくくく 止支

くくくくくくくくくくくくく 雪島

八月

八月 八月 八月 八月 青洲

八月 八月 八月 八月 池笑

八月 八月 八月 八月 二交

八月 八月 八月 八月 探弁

八月 八月 八月 八月 山甫

八月 八月 八月 八月 鷺秋

八月 八月 八月 八月 峨月

八月 八月 八月 八月 松彼

八月 八月 八月 八月 素竹

夕月と申すは夕日や日本晴 九起
 夕月やあねよるや竹山と云 二丘
 夕月や庵を屋花に結ひ寝 是一
 夕月や甲兵寄りぬる竹の新 卓丈
 夕月やほつとそとあのみを 好次
 夕月のりうあつや庵の灯 修秋
 夕月のほつとそとあのみを 卓池
 夕月のほつとそとあのみを 梅室
 夕月のほつとそとあのみを 増月
 夕月のほつとそとあのみを 雲厂

今日月

夕月と申すは夕日や日本晴 二友
 夕月と申すは夕日や日本晴 止友
 夕月と申すは夕日や日本晴 草子
 夕月と申すは夕日や日本晴 修秋
 夕月と申すは夕日や日本晴 賞雪
 夕月と申すは夕日や日本晴 兼福
 夕月と申すは夕日や日本晴 一
 夕月と申すは夕日や日本晴 白墨
 夕月と申すは夕日や日本晴 工亀
 夕月と申すは夕日や日本晴 止友

今日月

日見

竹春

とらぬの縁はつとまの山をふ 竹窓
竹の春は枝のさかゆと竹のさ

ささきぬのさかや竹のさ 生風

ささきぬのさかや竹のさ 花琴

野分

たゆまぬのさかや竹のさ 素白

たゆまぬのさかや竹のさ 雨橋

たゆまぬのさかや竹のさ 赤倉

たゆまぬのさかや竹のさ 九段

たゆまぬのさかや竹のさ 筑前

秋寒

たゆまぬのさかや竹のさ 逸水

朝寒

たゆまぬのさかや竹のさ 山甫

たゆまぬのさかや竹のさ 畔合

たゆまぬのさかや竹のさ 深高

たゆまぬのさかや竹のさ 素漢

たゆまぬのさかや竹のさ 計甄

たゆまぬのさかや竹のさ 赤唇

たゆまぬのさかや竹のさ 昂大

たゆまぬのさかや竹のさ 賀 柙之

たゆまぬのさかや竹のさ 柙山

夜寒

たゆまぬのさかや竹のさ 柙山

木 犀

木犀の香はまじやまじり芳の古つこ
木犀の香はまじり芳の古つこ

蓮室

竜尾

のしやまのまじり香はまじり

草子

秋 叶

秋葉のまじり香はまじり

総平

柏坡

艸 花

草花のまじり香はまじり

可大

石鼎

のしやまのまじり香はまじり

推少年環

のしやまのまじり香はまじり

注景

のしやまのまじり香はまじり

極室

秋三十五

花 野

花野のまじり香はまじり

石紅

蓬室

のしやまのまじり香はまじり

鶯秋

葛 花

葛花のまじり香はまじり

如九

草子

のしやまのまじり香はまじり

友子

野 菊

野菊のまじり香はまじり

南羅

牧風

のしやまのまじり香はまじり

吟雲

のしやまのまじり香はまじり

双鶴

鳳仙花

鳳仙花はさくくつを掃ふらう
買 柳之

白粉花

白粉の花やよまのあはれ
山甫

鶏頭花

鶏頭の志らくあつるの
二文
志未
雨香
左零

兼鶏頭

兼鶏頭はさくくつを掃ふらう
晴所

葛

葛の花はさくくつを掃ふらう
琴声

葡萄

葡萄の花はさくくつを掃ふらう
連空

東

東の花はさくくつを掃ふらう
五柳

菜 塙

花の香もあつてあつて塙と云ふは
く月の山根のつらねと云ふは

東枝のほつと云ふは

煙 州 花

あつてはつと云ふは
かゝる花もあつてはつと云ふは

若 煙 州

はつと云ふは
あつてはつと云ふは

蕎 麥 花

あつてはつと云ふは
あつてはつと云ふは

罌 粟 蒔

あつてはつと云ふは
あつてはつと云ふは

貝 割 菜

あつてはつと云ふは
あつてはつと云ふは

暮 蕨

あつてはつと云ふは
あつてはつと云ふは

零 餘 子

あつてはつと云ふは
あつてはつと云ふは

綿 花

あつてはつと云ふは
あつてはつと云ふは

移 恆

移るまや海のつとつと
つと移るまや海のかたむくま

月陽

稻 塚

稲つらつ産のつらつ
稲塚のつらつ産のつらつ

春如

稻

稲のつらつ産のつらつ
稲人のつらつ産のつらつ

日坡

稲のつらつ産のつらつ
稲のつらつ産のつらつ

梅宅

稲のつらつ産のつらつ
稲のつらつ産のつらつ

素屋

稲のつらつ産のつらつ
稲のつらつ産のつらつ

林曹

稻 雀

稲のつらつ産のつらつ
稲のつらつ産のつらつ

林曹

叔 磨

叔磨のつらつ産のつらつ
叔磨のつらつ産のつらつ

之岳

粟

粟のつらつ産のつらつ
粟のつらつ産のつらつ

撰茶

黍

黍のつらつ産のつらつ
黍のつらつ産のつらつ

硯窓

蜀 黍

蜀黍のつらつ産のつらつ
蜀黍のつらつ産のつらつ

硯窓

免月

落水

梅村
 松圃
 昂左
 計敷
 采室
 花夢
 素外
 凹峯

梅のうらみかきもなきはあは
 ちこり津よりあはれし
 ちかきもなきはあはれし
 ちかきもなきはあはれし
 月よりあはれし
 ちかきもなきはあはれし
 ちかきもなきはあはれし
 ちかきもなきはあはれし
 ちかきもなきはあはれし

秋川

毛也
 足基
 帳迪
 瑞秋
 素屋
 我神
 荷村
 茶静
 者吾
 雲汀

あはれし
 ちかきもなきはあはれし
 ちかきもなきはあはれし
 ちかきもなきはあはれし
 ちかきもなきはあはれし
 ちかきもなきはあはれし
 ちかきもなきはあはれし
 ちかきもなきはあはれし
 ちかきもなきはあはれし

秋水

礎

雁

初

雁

あしはさのささるる	あしはさのささるる	あしはさのささるる	あしはさのささるる	あしはさのささるる	あしはさのささるる	あしはさのささるる	あしはさのささるる	あしはさのささるる	あしはさのささるる
風調	水由	山木	阜也	由聖	風儀	琴竹	泉坊	布国	白松

あしはさのささるる	あしはさのささるる	あしはさのささるる	あしはさのささるる	あしはさのささるる	あしはさのささるる	あしはさのささるる	あしはさのささるる	あしはさのささるる	あしはさのささるる
白松	山木	阜也	由聖	風儀	琴竹	泉坊	布国	白松	白松

鳴

野をいやせりしつすはのひり
 わさ口のまはめや水や野のひり
 居まふろししと野をうたあう
 かひのまは野の羽まき小結り
 しつろくや夜はのりや野のひり
 甲ふんを野のひりて地り輝
 おろの野をまきそや野のひり
 うおの清なまきそや野のひり
 ままのま捕まてんまてん
 一まらるるまらるるまらるる

鶉

鳥丸
 鶉丸
 奏笠
 和廣
 琴水
 草子
 鳳朗
 梅室
 古菴
 五瓶

鴨

鳥をいやせりしつすはのひり
 野をいやせりしつすはのひり
 うつろくや夜はのりや野のひり
 甲ふんを野のひりて地り輝
 おろの野をまきそや野のひり
 うおの清なまきそや野のひり
 ままのま捕まてんまてん
 一まらるるまらるるまらるる

擡身

四十雀

連雀

月時
 青蓉
 鶯秋
 巖岱
 花陵
 素糸
 鶯秋
 草子
 蛙賦

頬赤

連子佳の屋ふからけり山の月
かやしくと頬赤の鳥ふ夕日外

拙詠
琴声
柳月

目白

一ロウ一ありしむやう頬赤
柿こつたけの梢や目しるる

見路
美雪

啄木

あつきのほきけりか屋の戸
啄あしつつききききききき

琴声
管絃

百舌鳥

百舌鳥の鳴や大工の白く白のあはる

一夜
一清

秋四十五

鴉草葎

地縁の介をぬらう百舌鳥のあ
夕鏡のねらうとて舌舌のあ
あしよる後ともさす舌舌のあ

仙術女
素友
卓丈
鳥白

鶴鳩

竹葉やかたせけりか屋の戸
ささきの向うふまきあはる竹

柳林
楽井

鶺鴒

鶺鴒なや夕日外のさるらふ山
ほふぬるさ終すまや鶺鴒のあ

木雪
管絃

菊戴

菊戴あはる葉あはるらふ

管絃
一清

豆廻

豆氣まきあけんすまのを 左琴
揚東乃のこまをさる豆廻一 吟秋

稲負鳥

稲廻一まふ共さる口くろこ 芦湖
所て田まきてなまや稲負を 在雨
月まふ稲負まらやふらぬ 玄年

色鳥

此月諸鳥群をて山林に湖邊へまらるる
一まらるるすれまのまけけらるるまらるる
古くは
りるるや日お振るははるる 吟秋
まらるやまらるる浪ふらるる 色鳥
ほらる一まらるるすれまらるる 色鳥

帰燕

ほらる一まらるるすれまらるる 色鳥

渡鳥

まらるまらるる一まらるるをねらるる 多月
まらるのまらるるおらるる 松波
まらるるおらるるのいおらるるやほらるる 唐白
ほらるる川おらるるらららららら 茶新
一樹まらるるまらるるやまらるる 素竹
ほらるる日まらるるらららららららら 右練
まらるる山まらるるやまらるるらららら 一仙
まらるる山まらるるのほらるる身 吟秋
新渚まらるるまらるるらららららららら 山甫
村まらるるほらるる群一 鶴廻る 山螺

鶴渡

村まらるるほらるる群一 鶴廻る 山螺

河 渡

日と山とをあらはし海や陸のつら
山もちやうどさるさるすもりに
組物しや下や下に糸
ゆりやに海は海のをき 紙
海とつこのやちるる月とつら
雪 蒼

太刀魚

太刀魚やきんりつと信を交はし
太刀魚やきんりつと信を交はし
湯 ぬ

沙 魚

沙魚のつらまはし月おは
るくさのなつとつらなつとつら
沙魚のつらまはし月おは
湯 水

江 魁

るくさのなつとつらなつとつら
るくさのなつとつらなつとつら
行 暮

鱸

るくさのなつとつらなつとつら
るくさのなつとつらなつとつら
驚 秋

小 鰯

るくさのなつとつらなつとつら
るくさのなつとつらなつとつら
雅 父

落 鮎

るくさのなつとつらなつとつら
るくさのなつとつらなつとつら
且 雨

洪 鮎

るくさのなつとつらなつとつら
るくさのなつとつらなつとつら
一 玉

相 山

るくさのなつとつらなつとつら
るくさのなつとつらなつとつら
相 山

松 珠

るくさのなつとつらなつとつら
るくさのなつとつらなつとつら
松 珠

新 花

るくさのなつとつらなつとつら
るくさのなつとつらなつとつら
新 花

九月

九月

夕ぐれも里代もきり九月ハ 月瀬

取りし九月月夜は魚をの 丁酉

鶏く啼くあつと九月うふ 李峰

少きもつとあつと九月うれ 二交

長月

長月やあふねきり 松社月

長月うも所なうと人 松祝

かろきの美ききりし 鷺秋

重陽

き傷やあふねのつとを 硯窓

九月の國うもくや 希声

栗祝

芳名抄に於て神代卷に九月廿

文老

栗のつよふ行々々々々々々々々々

た琴

ふけいふきふきふきふきふきふき

吟秋

后離

上平子ふきふきふきふきふきふき

初菜

ひらひらひらひらひらひらひらひら

架基

のらね離はははははははははははは

墨山

ふふふふふふふふふふふふふふ

醫秋

菊酒

まこの酒々々々々々々々々々々々々

海及

砕口からきききききききききき

一東

砕口からきききききききききき

祭を

菊

菊々々々々々々々々々々々々々々々

梅室

ふふふふふふふふふふふふふふ

卓池

白くくくくくくくくくくくくく

石湯

掛くくくくくくくくくくくくく

鳴釜

ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜

草蓋

い〜い〜い〜い〜い〜い〜い〜い〜

元太

そふ切〜そふ切〜そふ切〜そふ切〜

南羅

ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜

如光

と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜

一葉

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

兼壽

子邊
 湖帆
 苗既
 然し
 終お
 源奇
 守拙
 樗山
 望秋
 芳英

櫻紅葉

ねが樹をともねてささるゝおれおれ
 日の入るまゝ日のさすまゝさくら
 さくらさくら山さくらさくらさくら
 さくらさくらさくらさくらさくら

素竹
 簾文
 被水

梅紅葉

さくらさくらさくらさくらさくら
 さくらさくらさくらさくらさくら
 さくらさくらさくらさくらさくら

望秋
 弄我
 山木

漆紅葉

さくらさくらさくらさくらさくら
 さくらさくらさくらさくらさくら
 さくらさくらさくらさくらさくら

和唐
 蕉乳
 多古

葛紅葉

さくらさくらさくらさくらさくら
 さくらさくらさくらさくらさくら
 さくらさくらさくらさくらさくら

常遊

椎

いぶきや志きうらまき糸の町 山浦
中一か人あうあう推乃島 芦岸

柿

葉もそよぐさきなりお乃推 古渡
山里う志人のうらう柿乃外 松秀

淡 柿

子乃役小鳥おとよや畑の柿 栄枝
淡柿やなうと稍乃も畑に 古山

熟 柿

幸うりのう眼の中一熟柿乃 升船
乃こも柿乃こもこ 松乃柿乃 雪山女

蜜 柑

ももやうしけ敷うらや蜜柑の樹 露光
なまなまおあもあうらう 可及

金 柑

金柑のまね日ら乃汁一ま 琴声
誇り看うえんま柑乃軒記う 花泳

抽

一のうらもえんま乃抽のまね 美雪
抽乃まねいんま乃のまね日 古舟

榎

榎乃かふらと志組乃川 樂井
親猿乃榎割てやう小さな 鷲秋

梨 子

とれ梨も小ねれ一月の程もさ 左琴
すきさるもあうらうのうら味 松乃

拓榴

花咲くやふささくらのわねも
つるつるの月と松榴のつる

孤雅

梅嫌

日あつりのさうらう後や
梅咲り雨やあつり

美雪

扱實

つるつる梅実の群る小き
は連珠の梅もあつり

鷺秋

椿實

赤いものもあつり
梅乃実とあつり

三無

枉實

つるつる梅実の群る小き
は連珠の梅もあつり

松林

菩提実

名もあつり
日乃廻る梅実

春好

鴨上戸

あつり
河ぬ乃新の鴨上戸

雪舟

仙蓼

仙のつる
仙のつるや梅のつる

昔之

艸実

つるつる
竹のつるや乃つる

芦也

思艸

梅のつる
梅のつるや乃つる

畑秋

左空

龍膽

つんとうあまきき香はほこりき
らんやうや洗えのろく條の中
多古

芦花

舟とつ小舟ふほちりあいのた
さすは月おほりやあの花
杜流

あましハほふかまほあの花
春峨

名揖乃きまゆあの花
三岳

芒散

吹れつ、吹まて果をますき
香矢

せまぬあふ思ふまふの月
鸞於

松露

けりあいの松乃きまゆあの花
葉雨

秋中八

松茸

りんらう水ひてさうおまら
一連も母さ出さうおまら
雲静

お茸乃々さうすま茶うけ
春整

やうひや山さうらのさうき
双鶴

おんや美ら我らこのまら
古齊

まらひやほらつてさう組のよ
珉生

初茸

この茸やまらあまら裏のさ
楓義

紅茸

おんやや山田くあつてさ
左琴

おんややらんあまらう口はほ
夕飯

援 茸

ゆるけやあそふけゆる 山たりき 嶽山
ゆるゆる 虫らわゆる 揚るけ 詠あ

藎 茸

おろろろ 母よきしうきあけり 卓声
山ろろとわゆる 母よきあけり 紅江

針 茸

ゆるけのあゆるあきあゆるあ 長山
針ゆるけのあゆるあ 山ろろ 角境

ふ 茵

雷のあゆるあゆるあ 希緒
ゆるゆるあゆるあゆるあ 高貫
あゆるあゆるあゆるあ 文西

茸 持

ゆるゆる 山ろろあ 鳳棲
茸持ゆるあゆるあゆるあ 紀拾
ゆるゆるあゆるあゆるあ 謝月女

秋 山

ゆるゆるあゆるあゆるあ 李曠
ゆるゆるあゆるあゆるあ 標山

未 枯

あゆるあゆるあゆるあ 檜哉
ゆるゆるあゆるあゆるあ 一止

野山錦

未枯やまのふもあけ地ひき
未枯く花のまのこめいりふ
如州

木雪

野綿

一ふり今丁朝のやまにけ
咲ほるるかたは穂やみち
目雨

芍田

いそそとをくやあ田の物も
田を新くし流るるや山乃月
松眠

新葉

新葉まうり佳の比角のあふき
一もあをいほくしあのこ
沙明

新米

大粒ふやありのやとと米
新あふ里なるしきあのこ
往葉

濁酒

あつらふくしあふりまの
新あふりさしあふりさし
養血

古酒

あつらふくしあふりまの
あつらふくしあふりまの
志高

新酒

あつらふくしあふりまの
あつらふくしあふりまの
月時

古酒

あつらふくしあふりまの
あつらふくしあふりまの
紙巻

秋六十一

初鴨

くわくわく鴨やうみうみゆけ 素
初鴨くわくわくあふまゝやうす 詠水

尾越鴨

くわく鴨やうみうみゆけ 柳
今式曰鴨ハ常磐のあつらふと云ふ佐治のあつらふ
海上りく換舟をたまたまかひあつらふと云ふ
秋のうら鴨あつらふと云ふ群と云ふ又去来と云ふ
鴨あつらふ五ヶ月のうら菓をたまたま中を先半と云ふ
白と云ふ尾越鴨と云ふ越と云ふのなりと云ふと云ふ
鴨と云ふ又馬光説曰このあつらふ鴨餌と云ふ肥振
と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ
と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

古人のうら
尾越鴨と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ
鴨や全舟のゆ 孟遠

くわく鴨やうみうみゆけ 古菴

霜踏鹿

くわく鴨やうみうみゆけ 見
くわく鴨やうみうみゆけ 花蝶

紅葉鮎

くわく鴨やうみうみゆけ 雲
くわく鴨やうみうみゆけ 素竹

崩 築

くわく鴨やうみうみゆけ 俊
くわく鴨やうみうみゆけ 眠馬

細代打

くわく鴨やうみうみゆけ 紫
くわく鴨やうみうみゆけ 柳月
くわく鴨やうみうみゆけ 探夢

新綿

綿持く一も綿く一也

如流

綿打

綿打くやも綿打くも

双鶴

綿操

綿操を止むと綿の夕月お

和琴

星月夜

星月お魚夜も夕月お

加月

露時雨

あけぬる露も雨も

卓池

露寒

露寒のそよ風も

其音

露霜

露霜やうす早ふり

清雪

秋霜

秋霜のそよ風も

萍我

秋

秋のそよ風も

凸凹

秋

秋のそよ風も

蟬

秋

秋のそよ風も

蟬

秋

秋のそよ風も

蟬

秋空

のきこくく雀も過りすもり秋
叶や樹も浪もほほ秋の空
希を

出年

秋日和

秋日和も秋の空も
照るも秋の空も
芳山

諺秋

秋宵

秋日和も秋の空も
あつきの宵も
見込

花古

秋夕

あつきの宵も
あつきの宵も
若亭

秋六十三

秋夜

あつきの宵も
あつきの宵も
希を

若亭

長夜

あつきの宵も
あつきの宵も
令波

令波

秋惜

冬迎

冬嘆

葉も落しけりや秋の雨 柳之
 ともむらさきもあつた秋の石こ 修秋
 とも外へ秋もあつたあつた系 号潮
 ありけり田舎もあつたあつた羽 小山
 ありけり身もあつたあつた鳥 杉月
 けりけりあつたあつたあつたし 香月
 けりけりあつたあつたあつたし 梅價
 けりけりあつたあつたあつたし 工造
 けりけりあつたあつたあつたし 修秋
 けりけりあつたあつたあつたし 運室

秋六十五

冬待

秋名残

九月盡

壬九月

けりけりあつたあつたあつたし 見外
 けりけりあつたあつたあつたし 阿流
 山もあつたあつたあつたあつた 洞士
 けりけりあつたあつたあつたあつた 鷺丸
 けりけりあつたあつたあつたあつた 明菜
 けりけりあつたあつたあつたあつた 二交
 けりけりあつたあつたあつたあつた 一具
 けりけりあつたあつたあつたあつた 左琴
 けりけりあつたあつたあつたあつた 五楓
 けりけりあつたあつたあつたあつた 静柯

竹葉のまをふらふらとてま九月
まゝとてまをふらふらとてま九月

左琴
警秋

秋

